

機械器具 84 X線増感紙 (34317000)
一般医療機器

富士医療用増感紙

HR-FINE, HR-MEDIUM, HR-MEDIUM PLUS, HR-REGULAR, HR-FAST, HR-ULTRA FAST, HR-REGULAR 2, HR-GRADIENT + -, HR-GRADIENT + - +, HG-R, HR-FAST B-B, HR-ULTRA FAST B-B

【形状・構造及び原理等】

【形状・構造】

支持体に蛍光体を塗布したシート状増感紙です。

【動作原理】

増感紙中の蛍光体にX線が照射されると、蛍光体はX線のエネルギーを吸収し光に変換します。この光によりX線フィルムを感光させ、少ないX線照射で画像を形成させることができます。

【使用目的、効能又は効果】

X線像をフィルムに露光させるための蛍光物質を塗布したシートをいいます。

【品目仕様等】

項目	仕様
寸法	JIS Z4905:2005 7.1 項による。
コーナー	JIS Z4905:2005 7.2 項による。
直角度	JIS Z4905:2005 付属書 B による。

【操作方法又は使用方法等】

【操作方法又は使用方法に関連する使用上の注意】

- X線撮影に使用する一般用フィルムカセットやフィルムチェンジャー装置等に貼り付けて使用します。
詳細な貼り付け方法は、取扱説明書を参照してください。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- 増感紙は水等がかからない場所で使用すること。
- 増感紙に湿気、水分を付着させないこと。又、異物などがカセット内に入らないように注意すること。
- フィルムの装填/取り出し時に、増感紙の蛍光面を損傷しないように注意すること。
- 増感紙表面に汚れ、ごみ等が付着した場合は清掃すること。
増感紙表面を清掃する時は、増感紙専用クリーナーを含ませたガーゼで拭き、次に乾いた柔らかい布で軽く拭くこと。
- 増感紙はよく乾いた状態で使用すること。
- 増感紙に折れやキズが発生したり、変色が生じたりした場合は、新品の増感紙に交換すること。

【その他の注意事項】

- 増感紙を廃棄する場合は、産業廃棄物となります。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

- 保管方法
直射日光や紫外線があたる場所、各種放射線があたる場所や、高温高湿の場所を避けて保管してください。
- 有効使用期間
有効使用期間(使用期限)は、クリーニングを行った上で、キズ、折れ、汚れ、変色や感度低下等により、診断画像に劣化をきたすまでとし、このような場合には新品の増感紙に交換してください。

【保守・点検に係る事項】

- 増感紙の使用・保守の管理責任は使用者側にあります。
使用者による日常及び定期点検(少なくとも6ヵ月ごと)を必ず行ってください。
- 点検を実施しない場合には、診断画像に悪影響を与える懸念がでできます。

【点検項目】

- ・ 清浄度、・ 磨耗及び汚れ(シミ)

【包装】

品目・サイズはそれぞれの商品の個包装上に明記してあります。

【製造販売業者及び製造業者の名称及び住所等】*

製造販売業者 : 富士フィルム株式会社
住所 : 〒258-8538
神奈川県足柄上郡開成町宮台 798 番地
電話番号 : 0120-771669
製造業者 : 三菱化学株式会社
住所 : (本社) 〒108-0014
東京都港区芝 4 丁目 14 番 1 号

取扱説明書を必ずご参照ください。